

公表:令和 5年 3月 31日

事業所名 ヨシア(チェリーブロッサム)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数の多い日は活動を分けています。	活動内容などを工夫してきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			手すりがあります。	必要に応じ、検討し対応していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日の打ち合わせやクラス会議で、全職員が課題解決に努めています。	クラス会議やスーパーパービジョンを受け、アドバイスをもらったり職員同士意見を言いクラスの療育に繋げています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け自己評価の内容を職員間で情報共有を行い業務改善に努めている。	必要に応じて業務改善を行っていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者向け自己評価の結果は年1回ホームページに公表しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部からのコンサルを受けています。	評価結果をもとに、必要な改善をします。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修の機会が多くあり、外部研修はコロナ禍のため機会は少なくなりました。	研修に参加し、学びを深め専門性を高めていきます。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを行い、子どもと保護者のニーズや課題をクラスの職員と話し合い、デイサービス計画を作成しています。	自分からニーズを伝える事が難しい子どもや保護者には職員のほうから気持ちを汲み取っていきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを使用しています。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日案・週案の立案を職員間で話し合っています。	
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			決まった流れの中で色々な活動を取り入れて工夫しています。	室内活動の内容のバリエーションを増やしたり、公園遊びの遊び方を考えます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は学校の課題に取り組んでいきます。休日はや長期休暇は計画的に課題に取り組み外活動なども楽しめるように工夫しています。	

	(14) 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子ども達の発達などに合わせて個別活動や集団活動を組み合わせています。	
	(15) 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動前にその日の流れや役割を話し合い、確認してから初めています。	
	(16) 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りを行い、その日の気付いた子どもの様子を情報共有しています。	今後もコミュニケーションを大切にしていきます。
	(17) 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、一人一人記録を行っています。	毎日行います。
	(18) 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	(19) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携機関や保護者との連携	(20) 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			関係者が参加して会議を行っています。	
	(21) 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			各学校の下校時間を確認し、送迎を行っています。	
	(22) 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	/	/
	(23) 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前に利用していた児童発達支援事業と情報共有を細かく行っています。	
	(24) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	/	/
	(25) 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	(26) 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				
	(27) (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	(28) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談や送迎時にクラスの様子や家の様子を伝え合っています。	今後も保護者とのコミュニケーションを大切にしていきます。
	(29) 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っているか	○			保護者向けのCSPやグループカウンセリングの参加を促しています。	引き続き参加を呼び掛けていきます。

保護者への説明責任等	⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に丁寧に説明をしています。	
	⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者と日頃からコミュニケーションを取り、悩みがあった時に相談しやすい関係性を築いています。	今後も保護者とのコミュニケーションを大切にし、相談しやすい関係を築きます。
	⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		父母の会の連絡を行い、交流の機会を設けています。	
	⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		がくプリで園だより・クラスだより等を発信し、活動概要や行事予定等を知らせています。	
	⑮ 個人情報に十分注意しているか	○		書庫に個人情報書類を保管し、施錠しています。	引き続き、個人情報の取り扱いに十分注意して管理していきます。
	⑯ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子どもや保護者との意思を汲み取れるように情報伝達や意思疎通の方法を工夫していきます。	個別に伝え方を工夫していきます。
	⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
	⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルを作成し、事業所の職員で訓練は毎月行っています。	
非常時等の対応	⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月の避難訓練・年1回の大避難訓練を行っています。	
	⑳ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		アンガーマネジメントで助けを求める練習を行っています。	引き続き、職員同士で助けを求める練習を行っていきます。
	㉑ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		支援計画に記載し、保護者に説明とし同意を得ています。	
	㉒ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書に基づき、アレルギー対応マニュアルを作成し、チェックを行っています。	
	㉓ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットを公表し、事故防止に努めています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。